

102-28

問題文

シルデナフィルと硝酸薬の併用により増加し、血圧降下の主因となる物質はどれか。1つ選べ。

1. サイクリックAMP
2. サイクリックGMP
3. 一酸化窒素(NO)
4. イノシトール三リン酸(IP₃)
5. ジアシルグリセロール

解答

2

解説

シルデナフィルは、ホスホジエステラーゼ（PDE）5を阻害し、cGMPの分解を抑制することで勃起障害、及び肺動脈性高血圧症に用いられる薬です。

また、硝酸薬は NO 遊離により、血管拡張を引き起こします。もう少し、詳しくメカニズムを説明すると、NO は血管平滑筋のグアニル酸シクラーゼを活性化します。その結果 GTP からの cGMP 生成が促進されます。この結果、血管拡張が引き起こされます。

以上より、正解は 2 です。

類題